

企業の課題解決研究 — 嵯峨野観光鉄道調査研究 —

滋賀大学は令和元年度に京都の嵯峨野観光鉄道株式会社と観光分野における地域活性化に寄与することを目的とした連携協力協定を締結し、今年度は 3 年目の取り組みとなりました。新型コロナウイルス感染拡大の長期化にともない、国内観光業は厳しい経営環境に直面しています。今年度も昨年度に引き続き、特に国内の観光需要の取り込み、新規顧客の開拓などをテーマとして、経済学部学生が調査研究を実施し、嵯峨野観光鉄道に対し様々な提案を行いました。

1. 共同研究内容

- (1) 研究テーマ 嵯峨野観光鉄道における国内需要開拓に向けた調査研究
- (2) 研究内容 経済学部学生による観光鉄道事業の集客策に関する調査・提案
- (3) 研究期間 令和3年6月～令和4年1月
- (4) 主担当 産学公連携推進機構 客員教授 近兼 敏
指導教員 経済学部 教授 岡本 哲弥、准教授 竹中 厚雄、教授 陳 韻如

2. 各グループの参加学生と研究テーマ

- (1) 岡本ゼミ (中原 瑞穂、柊 勇飛、宮部 美帆、瀬戸川 鈴佳)
テーマ「嵯峨野観光鉄道における SNS プロモーション」
- (2) 竹中ゼミ (高山 英子、堀田 皓斗、市川 真綾、市原 萌子、須山 佳乃、長門 俊亮、天勝 智将)
テーマ「嵯峨野観光鉄道の閑散期における若者の利用促進」
- (3) 陳ゼミ (筆本 真乃介、宮本 佳奈、花木 愛侑、小林 佳悟、平井 貴大、川端 一輝)
テーマ「「新たな価値」を創造するツーリズム推進戦略」

3. 研究発表会

- (1) 日時 令和4年1月14日(金) 9:00～11:00
- (2) 場所 ホテルビナリオ嵯峨嵐山
- (3) 内容

今年度の研究発表会では、アンケート調査や同社公式 SNS アカウントの投稿の分析、インターネット上の口コミデータを利用したテキストマイニング分析など、多種多様なデータの分析に基づく研究成果の報告が行われました。また同社に対して新規需要の発掘や事業強化に向けて、SNS の利用方法や、新たなイベント、ツアープログラムなどに関する様々な提案がなされました。同社関係者の方からは学生の発表に対し、多くの質問や意見が投げかけられ、非常に活発で有意義な成果発表会となりました。

(文責：経済学部 准教授 竹中 厚雄)